

# アルファ・ウイン 企業調査レポート

## デジタルメディアプロフェッショナル (3652 東証マザーズ)

アルファ・ウイン 調査部  
<http://www.awincap.jp/>

### ● 要旨

#### ◆ 2017年3月期3Q決算は大幅増収だが固定費負担増で営業赤字増

・デジタルメディアプロフェッショナル（以下、同社）の2017/3期第3四半期累計（以下、3Q）決算は、売上高が前年同期比60.5%増の506百万円、営業利益は226百万円の損失（前年同期は200百万円の損失）であった。3Q決算公表と同時に、営業外収益に計上する為替差益、特別利益及び損失、そして2017/3期業績予想の修正に関するリリースを公表した。

#### ◆ 2017年3月期3Q決算のセグメント別概況等

- ・2017/3期3Q決算の事業セグメント別売上高をみると、
  - ア) IP コアライセンス事業は190百万円（前年同期比9%減）。既存顧客向けのランニングロイヤリティ収入は好調であったが、デジタルカメラ市場の縮小を受けたメーカーの新規投資抑制の影響を吸収出来ずに減収となった。
  - イ) LSI 製品事業は0百万円（前年同期は売上計上なし）。アミューズメント機器向けの2D/3DグラフィックスLSI「VF2」の性能評価ボードの売上を計上したものの僅少であった。
  - ウ) その他の事業は315百万円（同3倍）。バンダイナムコホールディングス（7832 東証一部）の完全子会社であるバンダイナムコエンターテインメントとの共同開発による画像処理プロセッサ「RS1」及び国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）の受託開発等を計上したため、大幅増収となった。
- ・「RS1」の開発に伴う研究開発費の増加から販売費及び一般管理費が前年同期に比べ136百万円増の561百万円となり、利益面では営業損失幅が前年同期比26百万円悪化し226百万円の営業損失となった。
- ・保有する外貨建て預金の評価替えにより第2四半期累計決算で為替差損11百万円を営業外損失に計上していたが、その後の為替相場の変動により、3Q決算では為替差益5百万円を営業外収益に計上した。
- ・特別損失では3Q決算で新たに106百万円を計上した。顧客の需要が「VF2」から「RS1」へ移行しており、「VF2」の2017/3期の販売が同社の計画数量に達しない可能性が高い状況を鑑み、「VF2」に係る固定資産の再評価を実施し、減損処理を行ったためである。

#### ◆ 期初の2017年3月期会社計画を減額修正

- ・「VF2」の2017/3期販売が同社の計画数量に達しない見込みから、同社は2017/3期業績予想を減額修正した。修正計画は売上高700百万円（期初予想1,000百万円）、営業損失270百万円（同161百万円の損失）、経常損失270百万円（同161百万円の損失）、当期純損失360百万円（同161百万円の損失）である。
- ・アルファ・ウイン調査部（以下、当調査部）の2017/3期予想も同社予想並みに減額修正する。LSI製品事業の売上高を350百万円から0百万円に減額修正したこと等により、売上高予想を1,000百万円から700百万円とし、売上高予想の減額により営業利益以下も減額した。
- ・当調査部の2018/3期の業績予想は前回予想を据え置き、売上高1,600百万円（前期比128.6%増）、営業利益100百万円（同黒字転換）を予想する。特にLSI製品事業については、「RS1」の収益寄与により売上高が900百万円になると見込んでいるためである。

### 決算メモ

1/3

アルファ・ウイン企業調査レポート(以下、本レポート)は、掲載企業のご依頼によりアルファ・ウイン・キャピタル株式会社(以下、弊社)が企業内容の説明を目的に作成したもので、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。弊社は、本レポートの配信に関して閲覧した投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならない。投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。また、本件に関する知的所有権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

【 3652 デジタルメディアプロフェッショナル 業種:情報・通信業 】

決算期	売上高 (百万円)	前期比 (%)	営業利益 (百万円)	前期比 (%)	経常利益 (百万円)	前期比 (%)	純利益 (百万円)	前期比 (%)	EPS (円)	BPS (円)	配当金 (円)
2014/3	355	-50.3	-569	-	-365	-	-366	-	-165.93	906.83	0.0
2015/3	464	30.6	-462	-	-265	-	-311	-	-120.62	762.65	0.0
2016/3	733	58.1	-176	-	-193	-	-64	-	-23.89	736.12	0.0
2017/3 CE	700	-4.6	-270	-	-270	-	-360	-	-132.50	-	0.0
2017/3 E	700	-4.6	-270	-	-270	-	-360	-	-132.50	634.70	0.0
2018/3 E	1,600	128.6	100	-	100	-	100	-	36.77	671.50	0.0
2016/3 Q3	315	-10.4	-200	-	-194	-	-65	-	-24.43	739.12	0.0
2017/3 Q3	506	60.5	-226	-	-220	-	-313	-	-115.53	624.76	0.0

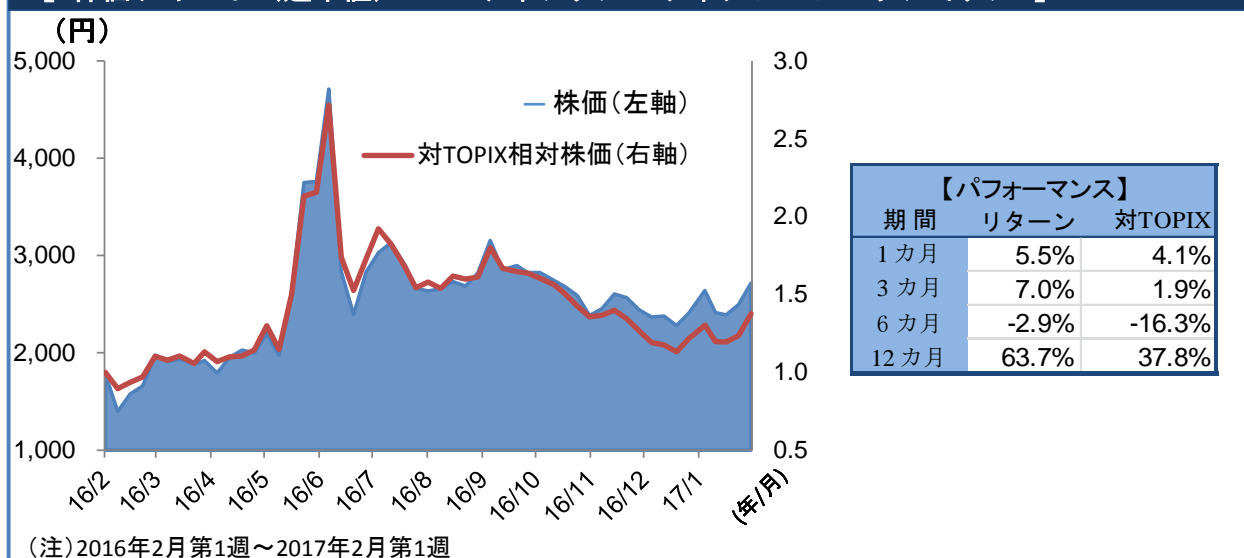
(注) CE : 会社予想、E : アルファ・ウイン調査部予想、Q2 : 第2四半期累計

【 株価・バリュエーション指標 : 3652 デジタルメディアプロフェッショナル 】

項目	2017/2/8	項目	PER (倍)	PBR (倍)	配当利回り	配当性向
株価 (円)	2,737	前期実績	-	3.7	-	-
発行済株式数 (株)	2,719,800	今期予想	-	4.3	-	-
時価総額 (百万円)	7,444	来期予想	74.4	4.1	-	-
潜在株式数 (千株)	105	前期末自己資本比率	88.9%	前期ROE	-3.2%	-

(注) 予想はアルファ・ウイン調査部予想

【 株価チャート (週末値) 3652 デジタルメディアプロフェッショナル 】



## ディスクレームー

アルファ・ウイン 企業調査レポート（以下、本レポート）は、掲載企業のご依頼により、アルファ・ウイン・キャピタル株式会社（以下、弊社）が作成したものです。

本レポートでは、企業の保有する独自の製品・サービスや技術など、持続的成長に必要な競争力の源泉を明確に描き出すとともに、企業の外部環境や内部環境を強み・弱み・機会・脅威の4つのカテゴリーで分析するSWOT分析の企業戦略評価への活用、KPI（業績指標）やガバナンスの確認等も行っております。

本レポートは、投資の勧誘や推奨を意図したものではありません。弊社は投資家の皆様の本レポートを利用したこと、又は本レポートに依拠したことによる直接・間接の損失や逸失利益及び損害を含むいかなる結果についても一切責任を負いません。最終投資判断は投資家ご自身においてなされなければならず、投資に対する一切の責任は閲覧した投資家の皆様にあります。

本レポートの内容は、一般に入手可能な公開情報に基づき、アナリストの取材等を経て作成されたものです。弊社及び本レポートの作成者が、掲載企業の有価証券を既に保有していること、あるいは今後において当該有価証券の売買を行う可能性があります。

本レポートに掲載された内容は作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートに掲載された情報の正確性・信頼性・完全性・妥当性・適合性について、いかなる表明・保証をするものではなく、一切の責任又は義務を負わないものとします。

本レポートの著作権は弊社に帰属し、許可なく複製、転写、引用、翻訳等を行うことを禁じます。

本レポートについてのお問い合わせは、電子メール【[info@awincap.jp](mailto:info@awincap.jp)】にてお願いいたします。